



# ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第6号

## 環境保全型農業推進研修会を開催しました



基調講演 講師：木嶋利男先生

平成22年2月26日(金)、橿原市の農業交流館にて、環境保全型農業推進研修会を開催しました。エコファーマーをはじめ、環境保全型農業に関心のある農業者、市町村、JA、県関係機関の約130名が参加し、盛会となりました。

はじめに、(財)環境科学総合研究所の木嶋利男所長より「農薬に頼らない病害虫防除—コンパニオンプランツの活用」と題した基調講演をいただきました。

コンパニオンプランツとは、共栄作物とも呼ばれており、間作・混作・バンカープランツなど、異なる作物を組み合わせさせて栽培し、植物

の特性を活かして病害虫や雑草の防除を行う技術です。多くの事例を交えて具体的な技術をご説明いただきました。

基調講演後、施策・事例発表として、県農業水産振興課より県環境保全型農業施策の推進状況を報告、県農業総合センター普及技術課 峯主事より「大和高原における普及活動事例」と題して、米ぬかを利用した土壌還元消毒、エンバクのすき込みによる虫害防除の



写真手前より  
古山主幹  
木嶋所長  
菊井幹事  
峯主事

パネルディスカッション・質疑応答

現地事例について報告がありました。続いて、県エコファーマー連絡会 幹事 菊井新昭氏より「環境にやさしい農業の取組紹介」と題して、自家製たい肥を用いた土づくりと農産物加工の取組について報告いただきました。

事例発表に引き続き、木嶋先生と事例発表者をパネラーにむかえ、地域資源の循環や草生栽培、輪作の効果等について、会場の参加者を交えてパネルディスカッションを行いました。

当日欠席された方で、研修会の資料を希望される場合は、事務局までご連絡下さい。



エコファーマー取組発表 菊井新昭氏

## 環境保全型農業推進コンクール 奨励賞を受賞しました

平成22年3月19日(金)、「第15回全国環境保全型農業推進コンクール」(主催:全国環境保全型農業推進会議)の近畿ブロック表彰式が開催され、奈良県エコファーマー連絡会が奨励賞(全国環境保全型農業推進会議会長賞)の授与を受けました。

本コンクールは、環境保全型農業において、経営や技術の改善に取り組み、農村環境保全を通じて地域社会の発展に貢献している農業者・団体を表彰し、その成果を広く紹介して環境保全と農業に対する国民の理解を深めるために、平成7年度から毎年実施されているものです。

今年度は、全国から80事例の応募があり、54事例が各賞を受賞、奈良県エコファーマー連絡会は、環境保全型農業の推進に積極的に取り組んでおり、今後の展開が期待される点が評価され、「奨励賞」に輝きました。



環境保全型農業推進コンクール 表彰式

コンクールの他受賞者や概要については、全国環境保全型農業推進会議ホームページ(<http://www.ecofarm-net.jp/index.html>)よりご覧いただけます。

## 奈良県エコファーマー連絡会 受賞概要

### 組織概要

平成19年10月結成。エコファーマー・関係機関との連携により、環境保全型農業技術の向上、消費者・流通関係者に対するエコファーマーのPRを目的として様々な取組を実施。会の趣旨に賛同した意欲あるエコファーマーの任意加入制をとり、平成21年10月末現在、会員数212名。

### 環境保全型農業技術の向上に向けた取組

- 環境保全型農業推進研修会の開催
- エコファーマー技術交流会の開催
- 機関誌「ならエコファーマー通信」の発行

### 消費者・流通関係者へのPRの取組

- 消費者交流会の開催
- 消費者交流イベントにおけるPR
- ホームページ・ブログによる情報発信

### 取組の成果と今後の展望

#### [成果]

- 環境保全型農業技術向上、会員相互の技術交流の促進、新規エコファーマー認定促進
- 消費者・流通業者に対する環境保全型農業のPR
- エコファーマーからの施策提案等、県環境保全型農業施策への参画
- 情報化時代に対応した会員相互、消費者との双方向型交流の実施

#### [展望]

県・市町村等の関係機関、全国エコファーマーネットワークと連携して、エコファーマー制度の積極的なPR、消費者・流通業者の環境保全型農業に対する理解を深め、農産物のさらなる高付加価値化を図る。

## Information



### 県内ではこれまでに次の団体が受賞されています！

- ・ 当麻町地力増進利用組合 (葛城市・第1回)
- ・ 橿原市グリーンアスパラ研究会 (橿原市・第2回)
- ・ 下市(金)柿出荷組合 (下市町・第3回)
- ・ 陽光ファーム21 (宇陀市・第4回)
- ・ 稲葉梨部会 (斑鳩町・第5回)
- ・ ならグリーンファーム (大和郡山市・第6回)
- ・ 米島会 (宇陀市・第7回)
- ・ 安堵町農業者リーダー会議 (安堵町・第9回)
- ・ 大和高原野菜研究会 (奈良市・第10回)
- ・ (有)類農園 (宇陀市・第11回)
- ・ (農)丸広出荷組合 (広陵町・第12回)
- ・ 奈良五條産直組合 (五條市・第13回)
- ・ 当麻有機の会 (葛城市・第13回)

## エコファーマー近畿ブロック研究会が開催されました

平成22年3月4日(木)、兵庫県民会館(神戸市)にて、エコファーマー近畿ブロック研究会が開催されました。

本研究会は、(財)日本土壌協会および全国エコファーマーネットワーク化推進準備委員会が主催し、近畿地域のエコファーマーや関係者が集い、環境保全をめぐる重要課題について認識を深め、先駆的な取組事例を学ぶとともに、土づくり技術の研鑽を目的に行われたものです。

午前中は、「土づくり・施肥改善講習会」と題して、日本土壌協会より土壌診断結果の見方と対策についての講演後、土づくり・施肥改善の現地事例が報告されました。

午後は、「ネットワーク化フォーラム」として、近畿各府県より環境保全型農業の実践について事例発表があり、奈良県からは(有)類農園の取組を丸一会長に発表いただきました。

事例発表後、全国エコファーマーネットワーク化の推進について、農林水産省、準備委員会、事務局より説明があり、今後の推進方向について意見交換がありました。

全国エコファーマーネットワークは、全国のエコファーマーが連携し、エコファーマーの技術力・経営力の向上と消費者・流通関係者に対する情報発信の強化を目指しています。全国のエコファーマーと情報交流したい方、ネットワークの趣旨に賛同される方は、奮ってご入会ください。



全国ネットワーク化に関する意見交換

事例発表  
(有)類農園  
丸一 浩 代表

### 近畿ブロック研究会 事例発表内容

#### 【午前の部】

- 「西脇市における有機の里づくりの推進」  
兵庫県 加西農業改良普及センター 廣瀬 泰徳
- 「JAこうか特別栽培米生産部会の取組」  
滋賀県 JAこうか営農経済部 森島 義明

#### 【午後の部】

- 「健康で豊かな農業を目指す  
紀の川市環境保全型農業グループの取組」  
和歌山県 紀の川市環境保全型農業グループ 会長 畑 敏之
- 「資源循環を中心とした環境保全型農業の取組」  
京都府 タケチャンファーム代表 野木 武
- 「エコ農業を軸にした経営戦略の展開」  
奈良県 (有)類農園 代表取締役 丸一 浩
- 「環境保全機能向上を目指した農業技術」  
(独)農業環境技術研究所 八木 一行

## 全国エコファーマーネットワーク協議会の紹介

(詳細は下記HPを参照下さい)

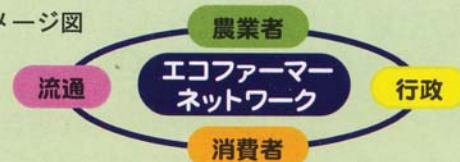
### ○目的

農業生産活動に伴う環境負荷の低減等を通じ、消費者の求める安全・安心な農産物の生産と、農業の環境保全機能の向上に資する農業生産活動を一層推進するため、全国のエコファーマーたちが連携し、先進的な技術や経験を交流しつつ、相互の研鑽を深め、また、消費者や流通関係者とも交流を深める活動を推進していくことを目的とする。

### ○活動内容

- (1) 全国交流会、ブロック研究会等の開催
- (2) 先進技術・土づくり等講習会の開催
- (3) 情報提供活動
- (4) 環境保全型農業の拡充に向けた活動

### ○組織イメージ図



**○会費** 現時点(H22.3月)では無料。事業活動本格化後、会員の特典・会費など改めて案内。

### ○入会の方法

規定の入会申込書を、下記事務局へ提出してください。  
申込書の様式は下記ホームページから入手いただくか、事務局へご連絡・請求ください。

全国エコファーマーネットワーク化推進準備委員会事務局 (財)日本土壌協会  
電話: 03-3292-7281 FAX: 03-3219-1646 E-mail: eco@japan-soil.net

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-58ハピロビル6階 HP: <http://www.eco-farmer.net/>

## 地域でがんばる! エコファーマー

菊井 新昭 さん (下市町・認定番号 128(2)号)

認定作物 : 梅、柿、梨



今回は、環境保全型農業推進研修会で事例発表いただいた菊井さんをご紹介します。

菊井さんは、果樹の産地である下市町で、梅、柿、梨を生産されています。梅ではJAS有機認証を取得し、有機農業に取り組まれるとともに、柿・梨においても黄色灯や草生栽培等の技術を導入し、できる限り化学合成農薬を使用しない栽培を実践されています。

特に、土づくりに重点を置き、おからや引き粉などを原料とした植物性の自家製たい肥を製造・施用されています。

また、地域で先立ってJGAP(農業生産工程管理手法)を導入、農産物の安全や環境に配慮した農業管理に努めていらっしゃいます。

あんぼ柿、梅肉エキス、梨エキスなどの農

産加工にも取り組まれ、傷果・小玉の付加価値化を行っています。積極的に収穫や農産加工体験の受け入れも行い、環境にやさしい農業の取組を消費者に伝えています。



JAS有機認証を受けている梅園にて

## エコファーマー認定期限にご注意！

平成22年度(平成22年4月～平成23年3月末)は、エコファーマー **認定番号が263号～365号**の方が、エコファーマーの目標年度(5年目)をむかえられます。

認定終了日は、認定された日から5年間となり、各個人で異なりますので、ご自身の認定書をご確認下さい。

認定終了時には、実施状況報告書の提出が必要です。また、引き続きエコファーマーとなるためには、計画の更新(再認定)を行う必要があります。

計画の更新や実施状況報告書の作成については、お住まいの地域の農林振興事務所にたずねてください。

計画更新(再認定)の際は、土壌分析を行い、診断結果に基づいた計画策定が必要ですのでお早めにご相談下さい。

特に、**認定番号が263～266号の方は、4～5月中に認定期限が参ります**ので、ご注意ください。



エコファーマーの認定期限が終了するとエコファーマーマークが使用できませんので、ご注意ください！  
なお再認定後も同じ番号が使用できます。

### 編集後記



環境保全型農業推進コンクールの奨励賞受賞を励みに、さらなる活動の充実・ステップアップを目指しましょう。「地域でがんばる！エコファーマー」コーナーへの掲載のご希望、ご意見や記事の投稿をお待ちしています。

発行 奈良県エコファーマー連絡会

(事務局 奈良県農業水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成22年3月発行